

JGNIIイベント利用報告書

H17. 6. 14

つくばJGNIIリサーチセンター

【イベント番号】

イベント-055

【申請者】

つくばJGNIIリサーチセンター

【イベント名】

つくばJGNIIIRCセミナー(平成17年6月)

1. JGNII利用の概要

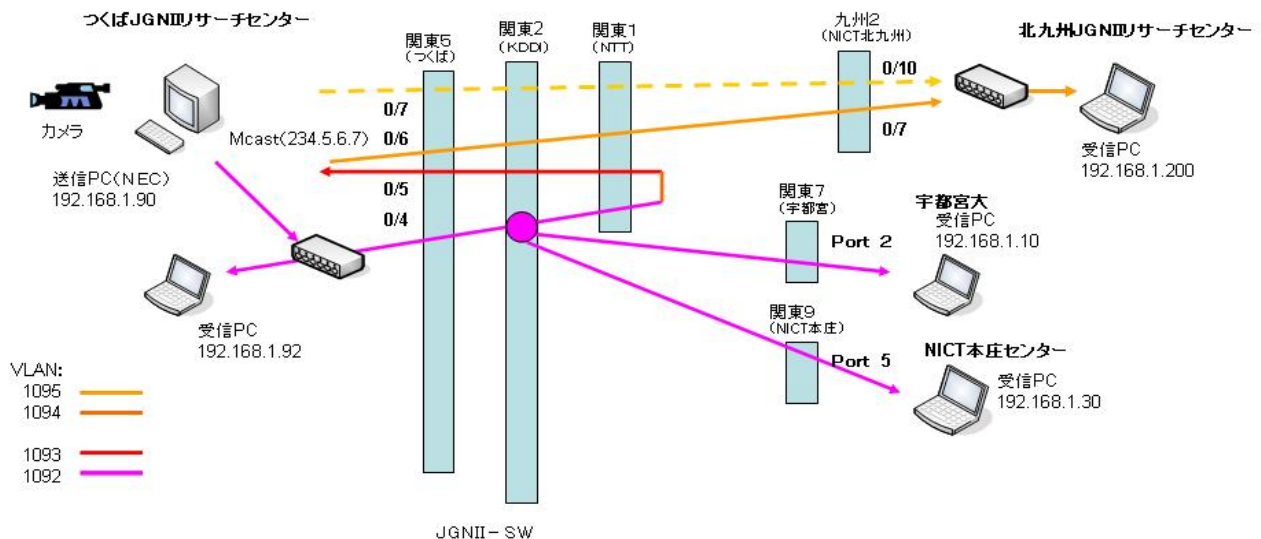
下図に示すように、北九州RC、NICT本庄センター、宇都宮大学の各アクセスポイントにつくばJGNIIIRCセミナーのDV映像マルチキャスト配信を実施した。今回は、北九州RCで折り返し接続ができないことから、関東側から片方向に映像ストリームを流した。

DV映像のマルチキャスト配信

(2005. 06. 13)



(つくばJGNIIセミナーをJGNII-AP宛に高品質映像で配信)



2. イベント参加人数

全体で 25人

3. 実験の評価

事前試験にて、従来可能であった北九州RCおよび関東1での折り返し接続が不通になって

いた。試験当初、当方の接続ミスで、ループをつくってしまいそのためJGNII内のSWで、疎通を止める処置に至ったかと思われた。(実際に止めていたが、この解消だけで回復することはなく、6月はじめに実施された各拠点のSWのファームウェア更新が影響していると思われる。)

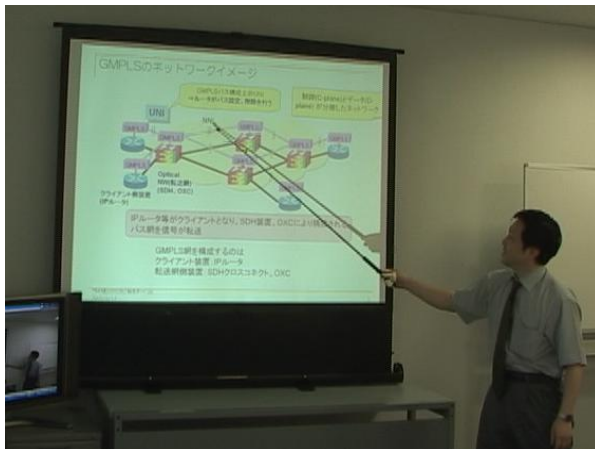
JGNII-NOCの対応の結果、回復のためには、折り返し点ではタグありの設定となった。このため、北九州RCでタグ無しのままの利用が必須なために、今回の折り返しは関東1のみとした。そのためストリームを流す方向も従来とは逆に先に関東からとし、つくばでの最終モニタもできなかった。

本イベント利用の配信用には専用のVLANとする、など、今後の対応として検討していく。

音声については、再度、カメラ搭載のガンマイクを使用とし、送出音量を大きめとし、受信側で絞れるようにした。<受信PCによっても再生音量に違いが大きいことも分かったため>

これまでも生じているノイズのちりちり音については、今回も発生することがあり(今回はフリー-DVTS送り/受けにて発生、受信のDVcommXPでは発生が無かった模様)、今後とも発生要因を切り分けていく。<これまでの実績では、送受信が同じ、フリー-DVTS間、またはDVcommXP間で発生が見られる。>

4. 開催模様

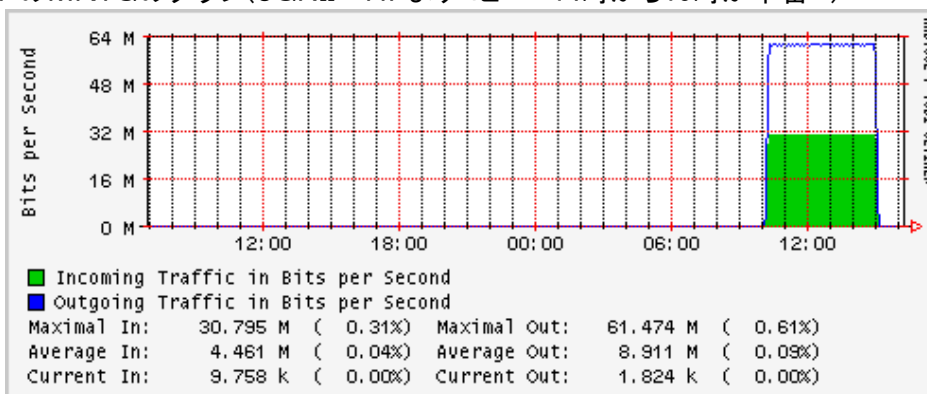


つくばRCの発信側のセミナー

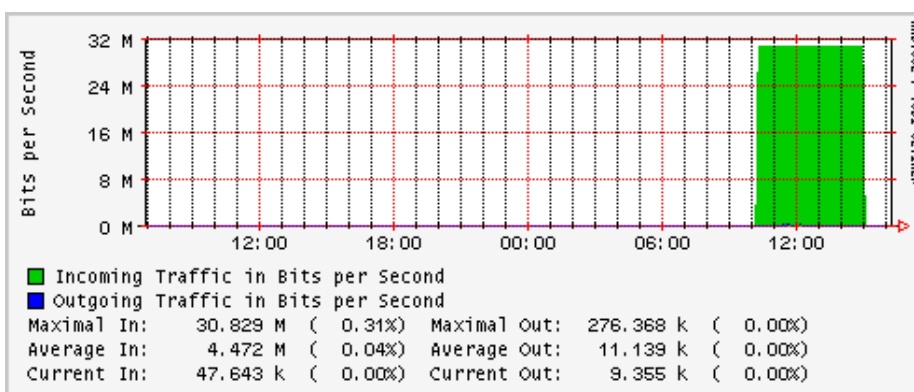


宇都宮大学の受信模様

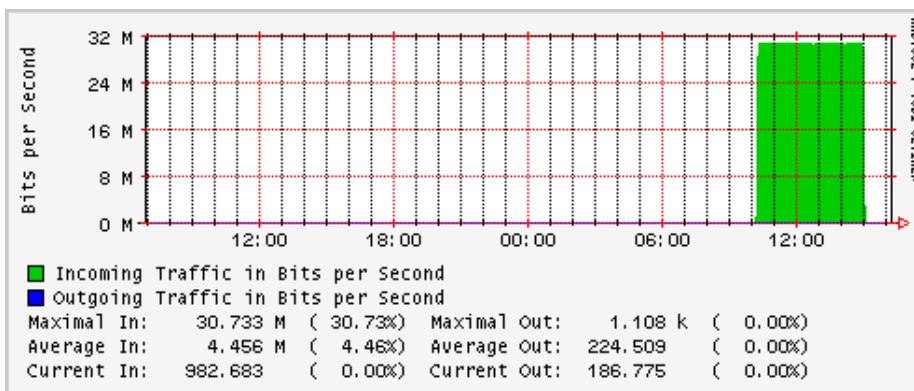
各APのMRTGのグラフ(JGNIⅡ-HPよりコピー 14時から15時が本番)



つくばRC<DV映像2本の送信と1本の受信:折り返しが1箇所のため>



北九州RC <DV映像1本の受信>



NICT本庄センターおよび宇都宮大<DV映像1本の受信>

5. 今後について

毎月開催のつくばJGNIⅡセミナーの配信については、今後とも継続して実施の予定である。

以上